

# ふっきことぶん

いちばんでなくとも

はるかぜに ふかれて、タローく  
んと いとこの ゆきちゃんは、  
なかよく いっしょに ようち  
えんから かえってきました。  
ゆきちゃんは、にゆうえんした  
ばかりです。

「タローおにいちゃん、この  
ごほん よんで。」

「えっ、ぼくは まだ、ちゃんと  
よめないよ。」

「わたしが、よんであげる。」  
しようがっこうに にゆうがく  
した まなちゃんは、じまんげに  
よみはじめました。

「みいちゃん、どこまではいく  
はしれるの？ っていう ごほ  
んね。 みいちゃんと いぬの  
タンタンは とても なかよし。  
……そして、いちばんでは なか  
ったけれど、とびっきりの えが

第210号

2019年  
4月号

## はやさのふしぎ



おで ゴールしました。おしまい。」  
「いい おはなしでしたね。みいち  
ゃんは どうぶつと かけっこの  
れんしゅうを したのですね。」

「あっ、くまたらうはかせ、しつ  
もんしても いいですか。」  
「もちろんいいとも、タローくん。」

「ぼく、いちばん はやい どうぶ  
つは チーターだって ずかんで  
みました。でも みいちゃんの  
ほうが さきに ゴールしたのは  
どうしてですか。」

「チーターが はやいのは すこし  
の あいだだけです。それに え  
ものが いるわけでもなく、ただ  
はしるということも ふつう しな  
いでしようからね。」

「そっかあ、しかや うさぎが は  
やいのも にげるためだよ。は  
やく はしるのを きょうそうする  
のは にんげんだけなんだ。」

かんたん？ がい？ ためしてみよう！  
みいちゃんの かけっこの れんしゅうを まねして やってみよう？

しっかり あしぶみ  
からだを まえに かたむけて  
うでを おおきくふって  
じめんを おもいきり けとばす  
どうかな？  
はやくはしれそうかな？  
こうえんの しばふで ためすと  
ころんでも いたくないよ。

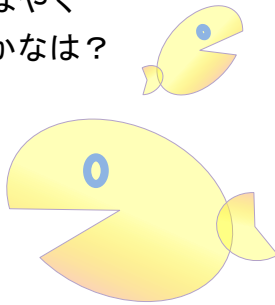


## クイズコーナー

1

いちばん はやく  
およく さかなは？

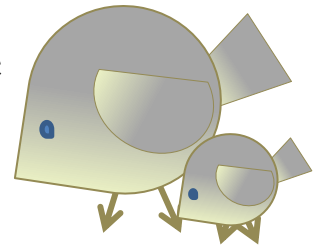
- 1 うなぎ
- 2 いわし
- 3 かじき
- 4 サメ



2

いちばん はやく  
とぶ とりは？

- 1 すずめ
- 2 つばめ
- 3 はやぶさ
- 4 カラス



ランニングシューズなら

## レインボー スポーツ



テーターよりも みいちゃんよりも  
はやくはしれます！！

みんなが みつけた ふしぎ

なんで さくら  
きっちゃうの？  
かわいそうだよ。



(きんじょの 老木になった  
さくらなみきを きっているのを  
みて) (Ayumi )

みんなも みつけた  
ふしぎ おしえてね



## 速さあれこれ

「はやい」って何でしょう。「はやい」には「早い」と「速い」があります。「はやい」には「早い」と「速い」があります。デジタル大辞泉の解説を総括すれば、「速い」は物事の進む度合いや、動作・進行などが対象である「はやい」であり、「早い」は物事が起こるのが基準となる時刻に対して、前だったり、間がいていなかったりする様子であるようです。ここで話題にしているのは「速い」です。

今日の雲は速く流れて行くとか、川の流れが速いなどの表現もありますね。自動車や電車が速かったり、犬や猫が速く駆けていったりもします。メトロノームの針が速く揺れ、ピアノのテンポが速くなりますし、テレビの画面がめまぐるしく速く移り変わり、世の中の動きが速くなった等とも言えます。日常の実に様々な場面で登場する「速い」ですが、他にどんな場面を思い浮かべますか。

さて、「速い」に対して「遅い」があるわけですが、では、何を基準に「物事の進む度合いや、動作・進行」に対して、「速い」と判断しているのでしょうか。

それは、一連の物事が始まり終わるまでに要する経過時間を比較しているのでしょう。最も親しみやすく、数値化されているのが移動する物の速さです。これは単位時間あたりの移動距離で、秒速とか時速などと呼ばれ、日常でもよく顔を出します。秒速は一秒間、時速は一時間にどれだけ移動できるかを示していて、普通mやキロm単位で表現します。光の速さは秒速30万キロm、新幹線は時速300キロmなどのように使われます。まなちやんがタローくんとかゆきちゃんに読んであげたかけっこのお話もこの「速さ」が話題になっていました。一番速い動物はチーターとタロー君はきいたことがあります。おはなしではみいちゃんのほうが先にゴールします。



タロー君は、一番速い動物がチーターと覚えていました。お話ではみいちゃんのほうが先にゴールしますが、このように、「一連の物事が始まり終わるまでに要する経過時間の比較」である以上、「一連の物事」をどこにとるかで変わってしまいます。

チーターが一番速くなれるのはスタートダッシュから限られた時間です。さらに、チーターが最速で走るのは、獲物を追いかけるか、危険から逃げるなどの、生物として動くモチベーションがある時に限ります。「このような条件下でスタートから限られた距離走る」とこれが「一連の物事」にあたり、それにかかる時間がとても短いので「最も速い動物」といえるわけです。

一方のみいちゃんの「一連の物事」と言えば、スタートはここ、ゴールはここと決め、そこに向けて決まったコースを一心に走ること。それにかかった時間がみいちゃんが「速い」のか「遅い」のかを決めます。いくらスタートダッシュが速くても、途中で止まってしまつては速くないのです。

昨年までの運動会で、同条件下を他の人がみんな短い時間で走り、みいちゃんが最も時間がかかったから、足が「遅い」と嘆くことになったわけです。今年は時間が他の人より少し短くなったので二番に決めたのです。このように、移動距離を決めて、そこを走るのにかかる時間を比べているのがかけっこです。チーターのように瞬時に加速してトップスピードが大きい選手が活躍する短距離走や、全体を通して平均した速さを競うことになる長距離走など、いろいろな得意分野の選手が力を発揮できる工夫がなされ

て、チーター以外にも、人間より速く走れる動物は多いのですが、持久力においては人間もかなりのものです。フルマラソンを止まること無く、ほどほどに速いスピードで走りつづけられる動物はそれほど多くありません。



## 子供が見つけた不思議・ミニ解説

昨年は私のうちの近隣でも、多くの桜の老木の剪定や伐採が進みました。名所と言われていた通りはさみしい風情でもあります。一方で、数年前に植えられた若木の並木が、あつという間に立派に枝を差し交して、桜のトンネルを作っています。マスコミでもよく取り上げられますが桜の寿命は50~60年、戦後の高度成長期に植樹されたソメイヨシノが多いため植え替えが望ましいのです。寿命といっても、ある年ばたつと枯れてしまうものではありません。伐採された太い幹を見ると、中央が脆くなっていたり空洞になっていたりしています。木は樹皮に近い外周部に水や養分が通る場所があり、中央部はもう活躍していない死んだ細胞にあたります。周囲さえあれば生き残れるので、本当はもっと長い年月、花を咲かせ続けることができる個体も少なくありません。が、木の老化とともに菌などが侵入し、細胞活動していないため防御態勢の無い中央部が腐朽すると、ストローが立っているような状態になります。強風などによる倒木が懸念されるので街路では植え替えが必要になるのです。

## 新生活おめでとうございます

入園や入学、新学年の時期になりました。みなさまおめでとうございます。今年の関東は桜の開花も眺めで、新たな門出をじっくり祝ってくれているようです。まもなく平成も終わりますが、自然界の営みは変わらず着々と進んでいきます。足元の地面から、目を上げれば天にまで、どうぞ、暖かな戸外で風を感じながら、多くの不思議に出会ってみてください。ふしぎ新聞は皆様からのふしぎを元にできております。HPより無料でダウンロード可。紙面でお読みになりたい場合は、年間(11回)の1100円を小額切手で。(3部同封可) URL:

発行：ママとサイエンス 代表者：田中幸・結城千代子 問い合わせ先：〒182-0012 東京都調布市深大寺東町

6-16-23 結城 メインイラスト：たまたろ お散歩で発見！雑草日記：日野原千恵子

お散歩で発見！雑草日記

たんぽぽをじっくり観察

ご入園、ご入学の皆様、またご進級の皆様、本当におめでとうございます。新学期が始まりましたね。雑草日記も皆様と一緒に頑張ります！

今月は、タンポポのお花を皆様とじっくり観察してみたいと思います。

道端ではお馴染みのタンポポ、黄色いお花ということはご存知ですか？正確には「お花たち」・・・なんです。どうしてでしょうか・・・？一緒に観察してみましょう。



茎が伸びて花が咲く

地面にべったりの葉っぱから1本伸びているのが茎。この茎は葉をつけずに先っぽにつぼみをつけ、花を咲かせます。この茎は花茎（かけい）と呼ばれています。

タンポポの花は朝つぼみを開いて夕方にしぼみます。

3〜4日これを繰り返しますが、雨が降ると花を開かせません。太陽の光を浴びることができない時は花を開かないのです。



小さな花がたくさん集まった頭状花

小さな花の集まり

お花をよく見ると、先っぽがクルつとしているのが見えます。これは「めしべ」です。



タンポポの花

①タンポポのお花をカッターで半分にカットしてみました。タンポポの花の断面を見ると、東のように見える、花の集まりということが見てわかります。②ピンセットで1つだけお花を取り出してみました。これが本当の「花」です。下には将来タネになる「子房」(しぼう)や、将来綿毛になる「がく」も見られます。これでタンポポ博士！晴れた日に、タンポポの「頭状花」を観察してみてくださいね。

アルバム

部屋の片づけをしていたら、娘の子供のころのアルバムが出てきました。小学校までは何とか選り抜いた写真にコメントなど付けて、ちょっとしたその年のストーリーが迎えます。懐かしくめくると同時に、後半

語が次々に記憶によみがえってきて、楽しいひと時を過ごしました。といてよかったです。痛感、今がスマホに溢れんばかりの写真がたまりますが、選り抜きで物

語を綴っておいではいかがでしょうか。記憶は詳記させるためにきつかけがある方がいいものです。今日も些細でもいいから楽しい不思議を発見、記録して、20年位したら、お子様と懐かしく語り合ってください。

今月の話題より

ちょっと変わった絵本の楽しみ方

まずは「走る」絵本から。「はしる」(福音館) 真っ直ぐ走る方法を解説。運動会前の練習には最適かも？「アンガスとあひる」(同) 犬のアンガスがアヒルにちょっかいを出したら…。犬は走るのが速そうですが、あひるもどうしてどうして！「らいおんはした」(同) 話しかけても誰もが逃げて行ってしまうから、走って追ってはみんなを食べてしまう孤独なライオン。動物の形を通して人の関わりを伝えてくれます。「はじめてのかり」「かりのけいこ」(ベネッセ) アフリカの動物絵本のシリーズ。ライオンの狩りの様子を美しく克明な絵で描いてあります。もちろんその走りは見事。「よーいどんけついつとうしよう」(岩崎書店) 小さい子を助けてあげていて徒



競走に間に合わなかった『ぼく』、一所懸命走る幼い子ども達の心がよく伝わってきます。「さかさことばでうんどうかい」(福音館) どうぶつたちの楽しい(おもしろい)運動会、最後のリレーは誰が一等賞？「まてまてタクシー」(同) タクシーから降りたハットさん、忘れ物に気づいて追いかけて走る走る！「このよでいちばんはやいのは」(同) 様々な物の速さを語る科学絵本。「ハリーのセーター」(同) 犬のハリーが来たセーター、走るとほどけて…。「かしこいビル」(ペンギン社) おばあさんの家に行くメリーに置き忘れられた人形のビル。追いかける走りは速い速い。「うさぎくんはやくはやく」(偕成社) うさぎともぐらの競争はどちらが勝つか。いろいろ気を取られるウサギ君、がんばって！「どうぶつなんでもせかいいち」(児童図書館) 大きさや形、動きなどいろいろなものを比べています。